

Off Campus Times

目次

編集部より	1
第2タームプログラム実施報告	1
学外学修センターからのお知らせ	4
学外学修センター利用案内	4

編集部より

今年の第2タームは、ほぼコロナ禍以前のように学生たちが学外学修に参加することができました。企業との連携プログラムやプレゼン講座など学外学修センターが実施した企画や、学生自らが開拓してきた活動を含め、約180人の学生たちがキャンパスをこえて学びを深めました。

海外でも、フィリピン、カンボジア、オランダ、アメリカなどで学生たちはボランティアやサマープログラムに参加しました。

今年は感染症の流行だけでなく、猛暑や台風、円安による渡航費高騰など、様々な困難もありましたが、学生たちが無事にキャンパスに戻ってきて安心しました。

普段大学ではできないことに挑戦し、自分と向き合って成長してきたことがこれからの学生生活や進路選択に良い影響を与えることを期待しています。

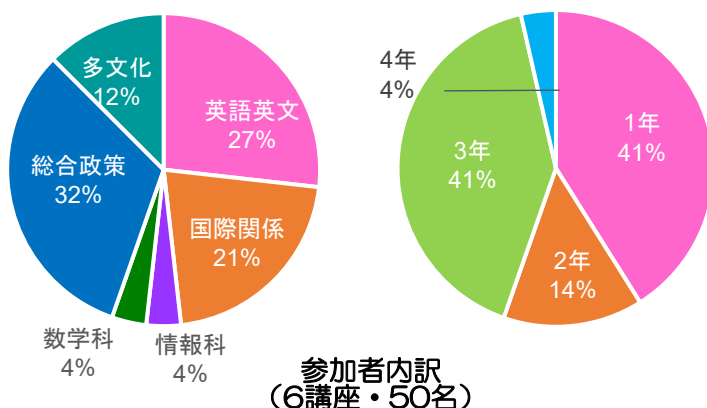
あわせて、今年は学内で開講されたキャリア支援科目に学外学修センターも協力し、約190人の学生に将来のキャリアや企業のサステナビリティについて考える機会を提供しました。

「1,2年生のための就職基礎講座」で基調講演していただいた朝日新聞社の井原圭子さんから学生に送られたメッセージ、「自分で自分のリーダーになる」という言葉は、多くの学生の心に響いたようです。

今年入学してきた1年生たちは、高校時代の大半がコロナ禍で我慢を強いられてきた世代です。大学に入り悩みに直面する学生もいると思いますが、それぞれが「自分で自分のリーダー」となり、可能性を拓けていってほしいと願っています。

今年も多くの企業関係者、OGの皆さんにご協力いただきました。ありがとうございました。来年はセンターにとっても大きな節目となります。引き続き津田塾生たちを応援していただければ幸いです。

第2タームプログラム実施報告



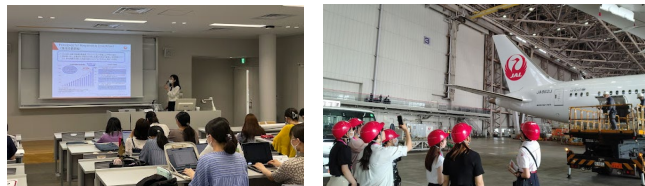
学外学修センター主催のプログラムを6講座開講し、合計50名が参加しました。1年生の参加が多く、全体の41%となりました。

このほかにプレゼン資料作成講座、「ワタシの未来発見ワークショップ」、「1,2年生のための就職基礎講座」、「サステナビリティとこれからの企業」、大学紹介プログラム・自己開拓プログラムに参加し履修申請した学生も合わせると、合計約370名がこの夏、学外学修センターが関わるプログラムに参加したことになります。

学外学修センター主催プログラム

JALスタッフと考える
「サステナブルな旅」

日本航空のスタッフとサステナブルな旅のカチを考えるプログラム。これから航空会社が「サステナブルな旅」のために何ができるのかについて仲間と共に考え、アイデアを提案。1日目は千駄ヶ谷キャンパス、2日目は企業を訪問して開催。20名が参加。



【参加者の声】

・利益を追求するだけでない取り組みに興味を持った。まだ1年生だがこれから視野を広くしながら目の前のことに一生懸命になりたいと感じた。
・企業の方との距離も近く、コロナ禍における企業の在り方や女性の活躍を間近で感じる事ができた。

富士通クラウドテクノロジーズ (FJCT)
オープンカンパニー

国産最大級のクラウドサービスの開発・運用を事業とする富士通グループ企業 FJCT による1dayプログラム。IT業界で働くエンジニアについて知るためのオープンカンパニーを実施。8名が参加。



・社内の雰囲気や価値観だけでなく、自分自身が興味を持っていることや不足している部分について新たな気づきを得ることができた。
・IT業界での働き方について学ぶことができ、ITエンジニアという職の選択への抵抗が少し減った。キャリアワークショップでは自分のやりたいこと、そのためにやらなければならないことが明確になり、今後の大学生活の送り方を考えるととても良いきっかけになった。

パナソニックグループ・インターンシップ

人材派遣会社パナソニックグループの「人を活かす」様々な事業での就業体験やリサーチ等を通じ、大学での専門領域の拡大・深化を図るとともに、ビジネスマナーやプレゼンテーションについての講座も実施。6名が参加。



実践インターンシップ対象

・社会人の方とお話できる貴重な機会を無駄にせず、自分の持つ疑問をしっかりと聞くことが出来た。事前準備としてホームページを読み込んで質問をあらかじめ考えて行ったことも自信を持って質問が出来た要因だと思う。
・パナソニックハートフル(障がい者雇用)では、それぞれの分野に特化した人たちが、積極的に活躍できる場を設けてあり、今までの自分の仕事に対する固定観念が大きく変化した。

ワーク&ライフ インターン
NewsPicks for Biz社連携

キャリアだけでなくライフの側面からも将来を真剣に考えるワークショップ形式のプログラム。就職活動に直面する前に、自分の将来像をより具体的に描くことができ、働く社会人から仕事と家庭の両立について学ぶ。今年是国内最大規模のソーシャル経済メディア NewsPicks for Biz社と連携が実現。19名が参加。



NewsPicks for Biz

・仕事と育児の両立は自分にはできないと思っていたが、働く女性もいろんな人がいて、仕事に誇りをもっていきいきしている姿を見て、働くことに前向きなイメージになった。
・自分の人生は自分が決めるもの。可能性を広げられるのは自分だけだと思った。やらない後悔よりやって進むことを選んでいきたい。

JTPインターンシップ

エンジニア補佐職として、実際に現場の先輩社員と業務を体験するプログラム。過去にはIBM Watson を利用したソリューション開発プロジェクト、レコメンド系 AI 調査、LINE アプリ開発、ChatGPT に関する調査等を実施。今回はChatGPTの活用事例を提案。2名が参加。



実践インターンシップ対象

・ゼロだったアイデアがどんどん広がっていく過程を感じられた。IT業界について知ることができ、また自分自身の中で意見やアイデアを考え出す力がついた。全く知らない業種についても知ってみようという思いになったので、今後は興味のない分野の授業も受けてみたり、調べてみたりしてみようと思う。
・情報共有を志して意見の違いがありそうな時には確認して擦り合わせるという行動を積極的に行えたことに成長を感じた。自分の将来に活かせるような情報処理の科目を大学で選択しようと思う。

米国NPO法人DJCW
インターンシップ

アメリカ・ダラスのNPO法人DJCW(Dallas Japanese Career Women)によるオンラインインターンシップ。非営利団体の活動を理解し、DJCWスタッフと共に各種プロジェクトを遂行するとともに、グローバルに働くキャリアウーマンの仕事やNPOの事業を理解することを目的としたプログラム。11名が参加。



・NPOの活動には、資金調達の面なども踏まえて情報の開示と透明性をしっかりと発信し、人々の信頼を得ることがとても重要であると感じた。
・複数の人がまとまって同じ目標に向かって進むには、頻繁に進捗状況の確認を行い、そこからのフィードバック、意見の出し合いが必要不可欠であることを学んだ。
・思うような結果を得られない時や行き詰った時に、アプローチ方法を変えてリサーチする癖をつけることができた。

第2ターム開講科目・講座

【第2ターム開講科目】
1. 2年生のための就職基礎講座
「判断軸と選択力を身につける」

未来の女性の働き方について学び、卒業生の講演を通じて、自身の学生生活の過ごし方と将来のキャリアを考え「学生生活ロードマップ」を描く講座。初回講義は朝日新聞社の井原圭子氏による基調講演。2回目以降、民間企業・公務員・教員として働くOGや、大学院で学ぶOGなど6名の20代の先輩から、大学時代から社会人に至るまでの「選択」について体験談を伺った。198名が参加。



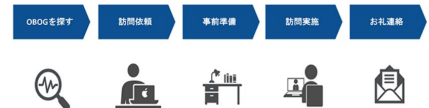
【第2ターム開講科目】
就業力基礎講座
「企業とサステナビリティ」

企業のサステナビリティに対する取り組みと企業評価方法を学ぶ講座。企業の社会貢献についての最新事情や企業評価について専門家によるレクチャーを受けた後、企業の担当者を講師としてお招きして授業を実施。今年度は日本IBM様にご登壇頂いた。学生はグループに分かれてSDGsのゴールを切り口に企業の取組を考察し、ディスカッションを通じて主体的に学んだ。25名が参加。



【第2ターム講座】
「ワタシの未来発見ワークショップ」

OGとの対話を通してセルフブランディングと伝える力を磨くワークショップ。3回目の実施となる今回は、1日目を千駄ヶ谷キャンパスで対面で開催。社会で活躍するOGとの対話を通じて、自分の強みに気付いたり、将来の自分をイメージする機会となることを目指した。2日間の活動日の間には各自「ビズリーチキャンパス」を活用してOG訪問を体験した。OGの方には、OG同士の交流の機会も持ち、大変好評でした。35名が参加。



参加者の声【在校生】

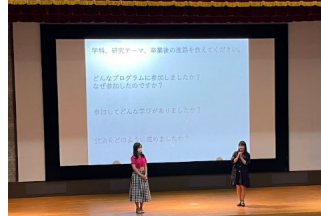
- ・なかなか会うことのできない様々な年代、業界、職種を経験しているOGの方々と会え、話をできたことが大きく得られたものだったと思う。チームのメンバーとも学年の違いがあるものの体験していることや長所だと思っていることが違いそれを知ることができたこと、伝え方や考え方など勉強になる点が多かった。
- ・自分が気になっていることもお聞きすることができたので、就活への不安や疑問を解消することができた。新しい自分を発見できそれを表現することができた。
- ・1年生の早いうちから自分と向き合うことができ、自分が活発になっていくことが実感できて本当に良かったです。就活のときに自信が持てそうです！
- ・ピッチトークが2回に分けてあったので自分の成長を実感することができた。またOGの方との座談会は自分のちょっとした不安なども打ち明けられて、それを吹き飛ばしてもらって自分に少し自信が持てた。
- ・寄り添ってくれる人ばかりで、安心して挑めた。ありがとうございました。

参加者の声【OG】

- ・学生のフレッシュな意見や悩みを聞けてよかったです。私達の話が少しでも良いアドバイスになっていければ良いと思います。
- ・学生が自分のキャリアについて真剣に考えていて素晴らしいと思った。OGと関わることへのハードルが低くなれば嬉しい。
- ・2週間という短い期間でも圧倒的な変化を感じ、たくさんのことを吸収し、自分ごととして一生懸命取り組んでくれたことを感じました。
- ・違う時期に津田のキャンパスで過ごしてこられたOGのみなさんと近い距離でお話でき、お互いにこれからよい関係を築けたらという思いです。貴重な機会、ありがとうございました。
- ・想像していたよりもかなり多くの先輩方がいらっちゃって安心しましたし、最近仕事のことで悩みがちだったので、先輩方にご相談できて私自身も非常に為になる会になりました。ありがとうございました。
- ・思ったより皆さん活発にお話されて、自己開示が早いスピードで進んでいたのが印象的でした。同じ津田の仲間だというバックグラウンドがこんなにも好作用するとは思いませんでした。

8月12日（土）13日（日）オープンキャンパス@小平キャンパス

小平キャンパスで行われた夏のオープンキャンパスにて、「キャンパスをこえた学びとキャリア支援」と題して、学外学修センターの活動とキャリア支援について紹介しました。3人の学生が体験談を話し、学外学修を通じて学んだことや、それが卒業後の進路にどう生かされたかなどを自分の言葉で語ってくれました。約60名・約30名の高校生と保護者の方にそれぞれご参加頂きました。



- ・ギャップタームで、インターンシップや短期研修ができるので良いと思った。自分の学びたいことを学べたり自分の適性を知ることができるのは強みだと思った。
- ・津田塾には6月末から7月末まで海外の大学に合わせて、必修授業がない時期があることを初めて知りました。その時期を大いに活用されて学生さんが学外活動に挑戦されていることに感動しました。
- ・「ギャップターム」制度に興味を沸かした。また、望めば様々な経験ができるというのもいいなと思った。
- ・津田塾ならではの支援で、学生が各々自分に合った活動を活発的にできると知りました。入学できた際には是非活用したいです。
- ・キャンパスをこえた学び。というのがとても魅力的でした。是非参加したいと思えました。

学外学修センターからのお知らせ

津田塾祭にてポスター展示を行います
10月21日（土）10月22日（日）



学外学修に参加した学生による
学内報告会を開催します
11月14日（火）11月16日（木）昼休み

来年春休みや夏以降にインターンシップ・ボランティア等への参加を考えている方は、ぜひご参加ください。
※詳細はTsudaNet、学外学修ポータルサイトで周知します。



【学外学修センター利用案内】

◆在校生専用ポータルサイト

TsudaNet画面下部のバナーからアクセスできます。プログラム情報、学外学修の手続き、最新情報を随時掲載しています。



◆Facebookページ

学外学修センターの活動報告や、講座・イベントの実施レポートなどを投稿しています。活動内容やプログラムの実施状況、様子を知りたい方はぜひフォローしてください！

<https://www.facebook.com/tsudaoffcampus>



◆メーリングリスト

プログラム情報やセンターからのお知らせをタイムリーに配信しています。新規の募集告知はもちろん、追加募集や募集期間延長などもメーリングリストでお知らせしています。

登録はこちらから！



学外学修センター 窓口について

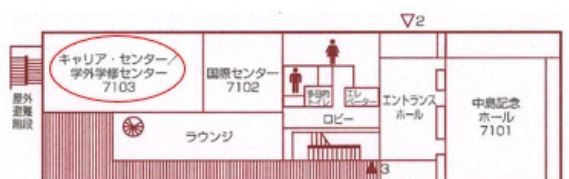
場所：小平キャンパス7号館1階 7103
開室時間：9:00-16:00（お昼休11:15-12:15）

問合せ・面談希望：問合せフォーム（右記QRコード）からお問合せください。



▲問合せフォーム

面談は基本オンラインで実施しますが、対面をご希望の場合は同じくフォームからお申込みください。千駄ヶ谷キャンパスも同様です。



7号館